

令和6年度事業報告

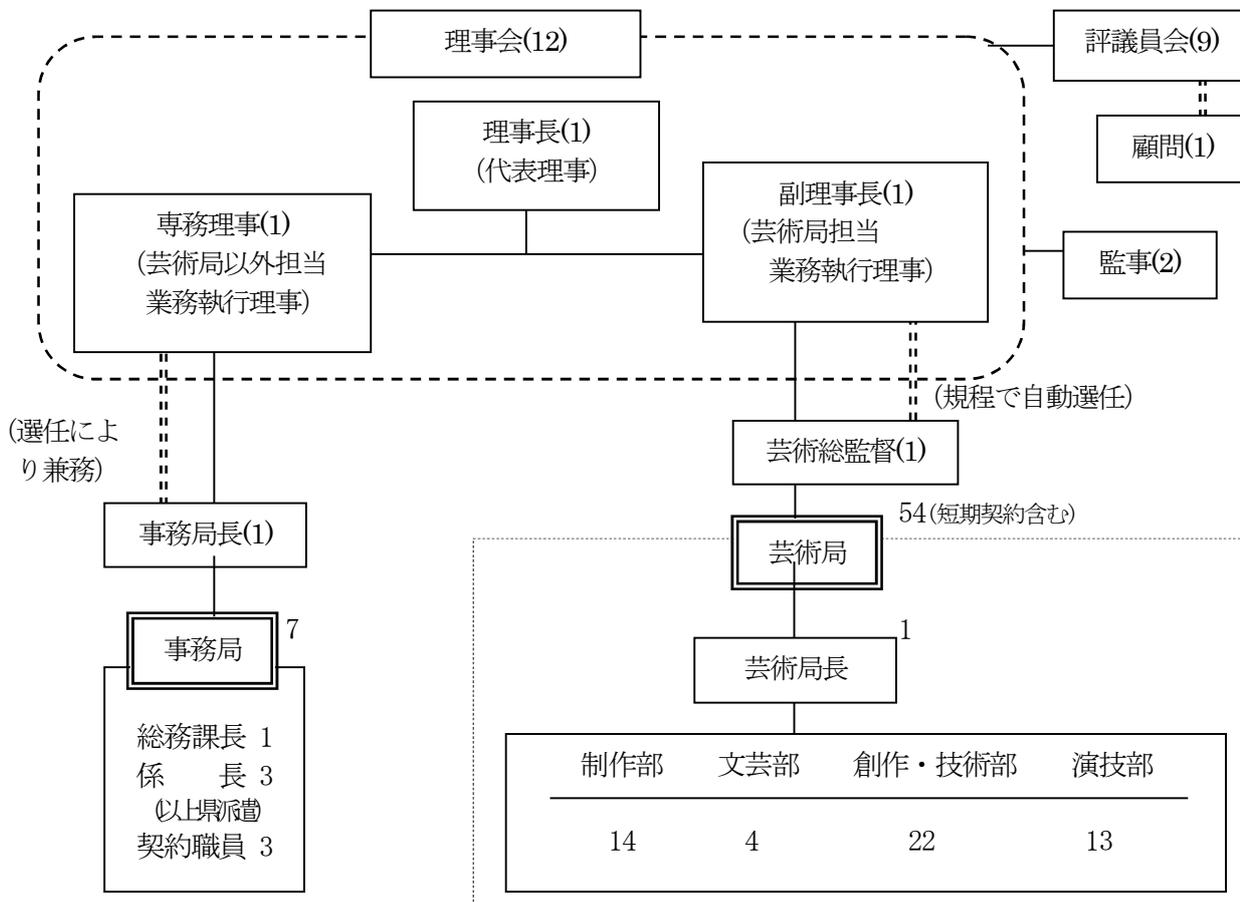
1 事務管理の概要

(1) 理事会等の開催状況

開催年月日	会議	主な内容	
令和6年4月15日	みなし決議に関する理事会	・評議員会の開催	・全ての理事から可決を得た。
令和6年4月25日	みなし決議に関する評議員会	・理事評議員の選任	・全ての評議員から承認を得た。
令和6年5月27日	第1回理事会	・令和5年度事業報告 ・令和5年度決算報告 ・令和6年度定時評議員会の招集	・出席者全員が賛成し可決した。
令和6年6月13日	定時評議員会	・令和5年度決算報告	・出席者全員が賛成し、承認を得た。
令和6年12月2日	第2回理事会	・令和6年度事業計画の変更 ・令和6年度収支予算の変更 ・令和6年度第2回評議員会の招集	・出席者全員が賛成し可決した。
令和6年12月25日	第2回評議員会	・令和6年度事業計画の変更 ・令和6年度収支予算の変更 ・公益財団法人静岡県舞台芸術センター職員給与規程の改正	・出席者全員が賛成し承認を得た。
令和7年3月7日	第3回理事会	・令和7年度事業計画 ・令和7年度収支予算 ・令和6年度第3回評議員会の招集	・出席者全員が賛成し可決した。
		・芸術総監督の推薦 ・宮城副理事長兼芸術総監督との演出契約の締結	・宮城副理事長兼芸術総監督を除く出席者全員が賛成し可決した。
令和7年3月24日	第3回評議員会	・令和7年度事業計画 ・令和7年度収支予算	・出席者全員が賛成し承認を得た。

(2) 組織体制

令和6年度の事務局及び芸術局の組織は、下図のとおりである。(令和7年3月31日現在)



(3) 基本財産の状況

運用については、公債又は定期預金による確実な運用に努めた。(単位：百万円)

	7年度	8年度	9年度	10年度	22年度	23年度	24年度	25年度	令和元年度
基本財産の 造成・取崩	500	500	400	300	△50	△80	△70	△180	△100

※ 令和7年3月31日現在残高 12億2千万円 (公債:額面額)

(4) 許認可及び登記の状況

年月日	内容
令和6年6月13日	評議員の辞任・就任、理事の辞任・就任

2 事業の概要

(1) 基本方針

俳優、専門技術スタッフを擁する本格的な文化事業財団として、舞台芸術の創造と公演活動を行うとともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を図り、もって国内外への積極的な情報発信に努め、静岡県の香り高い文化の創出に寄与する。

(2) 財団の事業

【公益事業】

舞台芸術の創造と公演活動や、優れた舞台芸術の紹介、舞台芸術に関する人材の育成、舞台芸術活動の支援を行うことで、芸術文化の振興を図り、静岡県を『演劇の都』とすることで、世界各国の文化との交流の促進や、優れた特徴ある静岡県の情報を国内外に発信する事業を実施した。

① 舞台芸術の創造と公演

国内外において、舞台芸術のオリジナル作品等の創造と公演を行うとともに、海外等からの招聘作品の公演を行った。

ア 県内公演

開催日・時期	区分	演目	公演数	鑑賞者数
4月27日 ～5月6日	ふじのくにせせかい 演劇祭2024	『かもめ』 『友達』 『檜山節考』 『マミ・ワタと大きな瓢箪』 『かちかち山の台所』	13	2,089人
5月3日 ～5月6日	ふじのくに野外芸術 フェスタ2024 (※)	『白狐伝』静岡公演	4	2,033人
5月25日		『白狐伝』浜松公演	1	720人
7月25日	TECH BEAT Shizuoka2024	『伊豆の踊子』	1	199人
10月2日 ～3月7日	SPAC秋→春の シーズン（中高生 舞台芸術鑑賞事業）	『イナバとナバホの白兎』	35 (27)	6,732人 (4,871人)
		『象』	4 (-)	559人 (-)
		『メナム河の日本人』	43 (26)	5,847人 (4,844人)
合 計			101 (53)	18,179人 (9,715人)

() は、中学生・高校生舞台芸術鑑賞事業の公演数で内数

(※) は、ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会からの受託事業

○前記のうち、県内出張公演

開催日	演目	会場	公演数	鑑賞者数
5月25日	『白狐伝』	浜名湖花博会場 (浜名湖ガーデンパーク)	1	720人 (ふじのくに野外芸術フェスタ)
12月5日～12日	『イナバと ナバホの白兎』	浜松市福祉交流センター (※)	6 (5)	1,320人 (960人)
12月18日～21日		沼津市民文化センター (※)	4 (3)	978人 (726人)
合計			11 (8)	3,018人 (1,686人)

() は、中学生・高校生舞台芸術鑑賞事業の公演数で内数

(※) は、「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業」(県委託) との共催

イ 県外出張公演

開催日	演目	会場	公演数	鑑賞者数
5月17日～19日	『友達』	鳥の劇場(鳥取県鳥取市)	3	345人
5月30日、31日		米子市文化センター (鳥取県米子市)	2	706人
9月7日、8日	『象』	利賀芸術公園(富山県南砺市)	2	312人
合計			7	1,363人

ウ 海外公演

開催日	演目	会場	公演数	鑑賞者数
6月27日～30日	『天守物語』	孤独外劇場 (中国阿那亜)	4	2,954人
合計			4	2,954人

エ その他

(ア) おはなし劇場

子育て世代の親子を対象に、絵本の読み聞かせとは違い、俳優の声と音楽でつくる物語の世界を創作し、演劇について理解を深めてもらう企画を県内各地で実施した。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
7月8日～ 12日、17日	『なむちんかむちん』	6	363人	三島市内保育園 他
7月27日		1	50人	かなみ知恵の 和館
10月30日		1	25人	つばさ静岡
11月19日		1	80人	日吉町保育園
合計		9	518人	

(イ) インクルーシブシアター

障害や言葉の壁を越えて楽しむことができる作品を創作・上演し、年齢や障害の有無に関わらず楽しめる観劇機会を提供した。

開催日	演目	回数	鑑賞者数	会場
11月16日、17日	『ちかくにあるとおく ～鏡の国のアリスより～』バリアフリー公演、ベイベー向け公演	4	138人	浜松市鴨江アートセンター
11月8日 ～12月4日	『ちかくにあるとおく ～鏡の国のアリスより～』学校訪問公演(※)	5	481人	浜北特別支援学校、南伊豆町立南中小学校他
合計		9	619人	

(※) は、「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業」

(ウ) 演劇サロン

SPAC秋→春のシーズン3作品の稽古見学など、クリエイションの現場を公開し、創作過程に立ち会うサロン企画を実施した。

開催時期	内容	回数	参加者数	会場
7月27日 ～1月18日	施設見学、演目に関する講座、稽古見学、トークショー等	19 (※)	22人	静岡芸術劇場、稽古場、リハーサル室

(※) 現地開催以外、作品ごとにメール配信も実施。

(エ) お茶摘み体験

舞台芸術公園の茶畑を開放して、SPACのスタッフも参加してお茶摘み体験を実施した。(令和6年4月29日)

(オ) 各種トークイベント、ワークショップ等の開催

県内各地で、団体等からの依頼を受け、下記に記載のほか、俳優やスタッフ等によるトークイベントやワークショップなどを実施した。

開催日	内容	回数	鑑賞者数	会場
9月14日、15日	「インドはままつフェスティバル」にてグリーティングパフォーマンスを実施	2	—	新川モール(浜松市)
1月10日、17日※	「モニター・ファムツアー」として俳優による園内バックステージツアーを実施(※前日の『伊豆の踊子』観劇と同時開催)	2	17人	舞台芸術公園
11月25日、27日	俳優によるおもてなし「SHOGUN'S DREAM」を実施	2	—	東照宮、日本平ロープウェイ他

(カ) 劇場外での出張劇場・朗読公演等の実施

自治体や地域団体等からの依頼を受け、県内各地域への出張劇場や朗読公演等を行った。会場では、SPACの活動紹介を合わせて実施した。

開催日	内容	回数	鑑賞者数	会場
6月3日、5日、6日、10日	『ころべばいいのに』(※)	6	617人	静岡市立安倍口小学校、菊川市立横地小学校他

11月3日、5日	『おっちゃん 次郎長はん!』	3	900人	船宿末廣(静岡市)
11月15日	『恋をしに行く・令和異体』	1	180人	専修大学(東京)
11月26日、27日	『ちかくにあるとおく〜鏡の国のアリスより〜』(※ ¹)	2	180人	島田市立五和小学校
1月9日、16日※	『伊豆の踊子〜旅のお座敷編』(モニター・ファミツアー)(※翌日の舞台芸術公園バックステージツアーと同時開催)	2	199人	新井旅館(伊豆市)
1月15日	『鶉の話』	1	60人	袋井特別支援学校磐田見付分校
2月23日	『古事記エピソード1/ヤマタノヲロチ』(富士山の日フェスタ)	1	300人	御殿場高原ホテル
合計		16	2,436人	

(※¹)は、「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業」

(キ)「ストレンジシード」の実施

招聘団体に加え公募により選出された団体が、市内各所で演劇やダンス等のパフォーマンスアーツを披露する「ストレンジシード」を実施した。

開催期間	内容	出演団体数	鑑賞者数	会場
5月4日～6日	演劇やダンス等のパフォーマンスアーツ	12	13,768人	駿府城公園内及びその周辺市街地

※ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会主催

(ク)「私のあしながおじさんプロジェクト for Family 2024」の実施

県内のひとり親家庭支援及び就学援助を受けているご家庭に鑑賞チケットをプレゼントし、「親子で一緒に本格的な演劇作品を鑑賞する」という体験を届けるプロジェクト。各地域の関係団体等の協力の下で実施した。

開催日	演目	鑑賞者数	会場
12月7日、8日	『象』	4名	静岡芸術劇場
12月7日	『イナバとナバホの白兔』	4名	浜松市福祉交流センター
12月21日	『イナバとナバホの白兔』	23名	沼津市民文化センター
1月19日、3月2日	『メナム河の日本人』	8名	静岡芸術劇場
合計		39名	

② 舞台芸術に関する人材育成

ア SPAC演劇アカデミーの実施

高校生を対象とした1年制の演劇学校。4期生9人の高校生たちに対してSPACの俳優やスタッフ等がきめ細かな指導を行い、演劇を学んだ。具体的には、名作戯曲の上演に向けての稽古や、教養と英語の学習等を行ったほか、成果発表会を実施した。

【成果発表会】

開催日	演目	鑑賞者数	会場
3月23日	『道成寺』	195人	静岡芸術劇場

イ SPACシアタースクールの実施

夏休み期間中に、県内の中学1年生から高校3年生の生徒たちに、講義や実技、鑑賞を通じて、演劇の魅力をより深く体感してもらうことを目的としてシアタースクールを実施し、最終日にはその成果の発表会を行った。

【成果発表会】

開催日	演目	参加者数	会場
8月17日、18日	『オフェリアと影の一座』	405人	静岡芸術劇場

ウ 「スパカンファン-プラス=SPAC-ENFANTS-PLUS」の実施

フランスを拠点に国際的な活動を展開する振付家・ダンサーのメルラン・ニヤカム氏を迎え、オーディションで選ばれた静岡の中高生と55歳以上のメンバーとともに新しい舞台を創造するプロジェクトであるスパカンファン-プラスを実施した。

(※SPAC-ENFANTS=フランス語でスパックの子どもたち)

開催日	演目	参加者数	会場
8月24日、25日	ワーク・イン・プログレス発表会	112人	静岡芸術劇場

エ 「SPACこども大会」の開催

子どもたちの感性あふれる表現力を育くむとともに、次世代の舞台芸術の担い手を育て応援するため、県内の小学生を対象として、歌唱、舞踊、演奏、その他様々な身体芸などの才能を発揮する「こども大会」を実施した。

開催日	内容	参加者数	入場者数	会場
3月15日、16日	歌唱、舞踊、演奏、その他様々な身体芸の発表	50人	194人	静岡芸術劇場

オ 「SPACシアターアーツ・ラウンジ」の開講

演劇後に、演劇の感想・批評をはじめ、様々なテーマについて、討議・意見交換を行うアーティストトークを実施した。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
10月20日	『イナバとナバホの白兎』	1	117人	静岡芸術劇場
12月8日	『象』	1	135人	
1月18日、3月1日	『メナム河の日本人』	2	248人	
合計		4	500人	

カ バックステージツアーの実施

演劇後に、SPAC創作・技術部を中心に、舞台裏の案内を実施した。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
10月27日、 11月3日、4日、9日	『イナバとナバホの白兎』	4	151人	静岡芸術劇場
12月14日、15日	『象』	2	50人	
1月19日、3月2日	『メナム河の日本人』	2	73人	
合計		8	274人	

キ 「はじめての演劇鑑賞講座」の実施

上演作品について、より深く理解してもらうため、SPAC俳優や文芸部により上演作品の解説を行う演劇鑑賞講座を実施した。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
10月19日	『イナバとナバホの白兎』	1	23人	静岡芸術劇場
12月8日、14日	『象』	2	29人	
1月19日、3月2日	『メナム河の日本人』	2	33人	
合計		5	85人	

ク 「ストリートシアター グローバル人材育成プロジェクト”STRANGE Lab.”

ストリートシアターの伴走支援として、海外での活躍を目指す若手アーティストを育成するプロジェクト”STRANGE Lab.”を立ち上げ、第1回ゼミを実施した。

開催期間	内容	参加者数	会場
3月5日	「第1回ストリートシアターってなんだ？ゼミ」の開催	22人	静岡芸術劇場

ケ 教育旅行の受入れ

仏ルーアン市立コンセルヴァトワールから学生を受け入れ、SPAC 演劇アカデミーとトレーニング等を通して交流を図る「日仏学生舞台芸術交流プログラム」を実施した。

開催期間	内容	受入数	会場
11月2日 ～4日	合同トレーニング、パフォーマンス披露 等	20人	舞台芸術公園 静岡芸術劇場

コ 「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業（演劇）」の実施

静岡県からの委託を受け、県内における芸術文化の振興と裾野の拡大を目的とし、子どもたちが多様な文化と出会い、体験する機会を提供するプログラムを実施した。

(ア) 学校訪問プロジェクト

「ひらけ！パフォーマンスアーツのとびら」と題し、県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校、放課後児童クラブなどをSPACの俳優・スタッフが訪問し、子どもたちが演劇を体験する機会を提供した。

開催期間	内容	施設数	参加者数	会場
5月18日～ 1月22日	ワークショップ、ダンスプログラム、出前劇場 等	18	1,946人	静岡学園中学校 静岡市立安倍口小学校他

(イ) 出張公演（再掲）

地域の公共ホール等で中学校・高校・特別支援学校を対象とした出張公演を行い、遠隔地の子どもたちに本物の演劇に触れる機会を提供した。

開催日	演目	公演数	鑑賞者数	会場
12月12日	『イナバとナバホの白兎』	1	291人	浜松市福祉交流センター
12月19日	『イナバとナバホの白兎』	1	440人	沼津市民文化センター
合計		2	731人	

サ 「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業（おやこ小学校）」の実施

静岡県からの委託を受け、芸術に触れる体験機会の少ない小学生及びその保護者を対象とした親子向け講座を実施した。

開催日	内容	日数	鑑賞者数	会場
6月8日～23日	算数、国語、体育などのレクチャー、ワークショップ	6	226人	静岡芸術劇場
7月6日～14日		4	148人	長泉文化センター ベルフォーレ

7月20日～28日		4	125人	浜松市鴨江アートセンター
合計		14	499人	

シ 「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業（インクルーシブシアター）」の実施（再掲）
静岡県からの委託を受け、障害や言葉の壁を越えて楽しむことができる作品を創作・上演し、年齢や障害の有無に関わらず楽しめる観劇機会を提供した。

開催日	演目	回数	鑑賞者数	会場
11月8日～ 12月4日	『ちかくにあるとおく～ 鏡の国のアリスより～』 学校訪問公演	5	481人	県立浜北特別支援学校、南伊豆町立南中小学校他

③ 舞台芸術に関する活動の支援

ア 「SPAC県民月間」の実施

県内を中心に、演劇やダンス、音楽等の舞台芸術活動を行っている団体を募集し、舞台芸術公園を使用しての自主的な創造・上演活動を支援した。

開催日	団体名	演目	公演数	鑑賞者数	会場
8月24日、25日	K's pro.	『ピッチフォーク・エンジェル』	2	371人	野外劇場「有度」
2月22日、23日	劇団 MUSES	『走れロメス』	2	69人	稽古場棟 「BOX シアター」

イ 人材の派遣と技術支援

静岡県や県内市町、県内大学等へ委員・講師などとして派遣した。

派遣先	内容
静岡県	文化政策審議会 委員派遣
静岡県	ふじのくに子ども芸術大学実行委員会 委員派遣
静岡県	小・中・高校教員初任者研修 講師派遣
東京大学大学院	人文社会系研究会講師派遣
静岡大学	「<現代>の芸術－文学・演劇・美術」講師派遣
静岡県立大学	「日常生活のための演劇ワークショップ」講師派遣
静岡文化芸術大学	「舞台運営論」講師派遣
専修大学	演劇ワークショップ講師派遣
昭和女子大学	特殊研究講座講師派遣
清水南中学校	「表現」授業講師派遣
清水南高等学校	「探求と表現」講師派遣
静進情報高等専修学校	キャリアデザイン講師派遣
磐田市立東部小学校	音読指導ワークショップ講師派遣
静岡市立中央図書館	「発声・発音エクササイズ」講師派遣
スズキ株式会社	「演劇的手法による企業経営コミュニケーション能力の磨き上げプログラム」ワークショップ講師派遣
協和医科器械株式会社	講演会講師派遣

ウ 舞台芸術に関する研究誌の発行

「ふじのくにせかい演劇祭」や「秋→春のシーズン」のテーマ等について、各界の専門家による対談や論考を掲載した研究誌「劇場文化」を発行した。

④ 「ふじのくにせかい演劇祭 2024」の開催（再掲）

静岡から世界に向けて演劇の魅力等を発信する国際的な舞台芸術の祭典「ふじのくにせかい演劇祭 2024」を開催した。

開催期間	令和6年4月27日（土）～5月6日（月・振休）
会場	静岡芸術劇場、舞台芸術公園、グランシップ
作品数	5作品
鑑賞者数	2,089人

〔作品一覧〕

作品	演出家・出演団体等	公演数	会場
『かもめ』（ドイツ）	演出：トーマス・オスターマイアー 制作：ベルリン・シャウビューネ	4	静岡芸術劇場
『マミ・ワタと大きな瓢箪』（フランス）	演出・振付・出演：メルラン・ニヤカム 制作：ラ・カルパスカンパニー	1	グランシップ （交流ホール）
『友達』 （静岡一鳥取）	演出：中島諒人 制作：（特非）鳥の劇場、SPAC	2	舞台芸術公園 （野外劇場）
『檜山節考』（富山）	上演台本・演出：瀬戸山美咲 制作：SCOT	3	舞台芸術公園 （楯円堂）
『かちかち山の台所』 （静岡）	演出：石神夏希 製作：SPAC	3	舞台芸術公園
合計		13	

⑤ 「SHIZUOKA せかい演劇祭 2025」の開催準備

令和7年度に開催する「SHIZUOKA せかい演劇祭 2025」の内容検討・広報等の諸準備を行った。

⑥ 「ふじのくに野外芸術フェスタ 2024」の開催（再掲）

野外芸術で「ふじのくに」の魅力発信し、賑わいを創出することにより、国内外からの誘客や交流人口の拡大につなげ、「ふじのくに芸術回廊」の実現を目指す、ふじのくに野外芸術フェスタ 2024 を実施した。

ア 静岡公演（駿府城公園（静岡市葵区））

開催期間	演目	出演団体等	公演数	鑑賞者数
5月3日～6日	『白狐伝』	演出：宮城聡 出演：SPAC	4	2,033人

イ 浜松公演（浜松城公園（浜松市中央区））

開催日	演目	出演団体等	公演数	鑑賞者数
5月25日	『白狐伝』	演出：宮城聡 出演：SPAC	1	720人

ウ ストレンジシード

開催期間	内容	出演団体数	鑑賞者数	会場
5月4日～6日	演劇やダンス等のパフォーミングアーツ	12	13,768人	駿府城公園内及びその周辺市街地

⑦ 舞台芸術公園の管理（県からの指定管理業務）

ア 舞台芸術公園の維持管理業務

指定管理業務の内容			
施設内警備	施設内清掃	空調設備保守点検	消防設備保守点検
電機設備保守点検	給水設備保守点検	汚水処理施設保守点検	舞台照明設備保守点検
舞台音響設備保守点検	舞台機構設備保守点検	植栽等園地管理	公園内施設の各種修繕
施設内警備	施設内清掃	空調設備保守点検	消防設備保守点検

イ 公園利活用の促進

舞台芸術公園の魅力向上及び舞台芸術への理解醸成を図るため、国内外の舞台芸術の歴史やSPACの歩み等を掲示する演劇ミュージアム「せかいの劇場ミニミュージアムてあとろん」を舞台芸術公園A棟内(カチカチ山)にて運営した。

(ア) 「てあとろんデー！」の開催

舞台芸術公園と演劇ミュージアム「せかいの劇場ミニミュージアムてあとろん」を県民に楽しんでもらうため、「てあとろんデー！」を実施した。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
10月26日	読書会、SPAC俳優のガイドによる園内ツアー、ワークショップ等	1	83人	舞台芸術公園
11月23日		1	75人	
1月25日		1	74人	
3月29日		1	199人	
合計		4	431人	

⑧ 賛助会員及びSPACの会

ア 会員の状況（令和7年3月31日現在）

		人数及び団体数
賛助会員	個人	10人
	法人	42団体
	個人特別	2人
	法人特別	4団体
SPACの会	個人	345人
	法人サポーターズクラブ	12団体

【収益事業】

① カフェ・物販事業の実施

舞台芸術への理解や知識を深めるとともに、SPACの活動に親しみを持ってもらうことを目的に、書籍やTシャツ等の販売、カフェの営業等を行った。

② 舞台芸術公園飲料自動販売機設置運用事業の実施

舞台芸術公園の利用者サービスの向上と当法人の収入確保に寄与するため、舞台芸術公園に飲料自動販売機を設置し運用した。